

### 本学消化管外科学講座研究グループ論文 アメリカ癌学会AACR表彰

本学消化管外科学講座芦澤舞博士研究員ら研究グループが、世界的に最も権威ある癌領域の学会のひとつであるアメリカ癌学会AACRが発行するMolecular Cancer Researchに、令和元年に発表した論文(MolCancer Res. 2019JUN17 (6): 1403-1413)が、令和元年～令和2年に発行されたAACRの癌専門誌全9誌において最も引用された論文40編に選出されました。

#### 日本人でただ一人紹介

そして、AACR 2021年版の「The Best of the AACR Journals」として発表され、当該論文もそのうちの1本として表彰されました。さらに、当該論文の責任著者である同講座岡山洋和講師が、日本人ではただ一人AACR Top pageに紹介されました。

大腸がんの治療法のひとつ「免疫療法」の効き目の大小を左右するメカニズムについて突き止めた

論文内容の質の高さと、関連分野での注目度の高さが認められた成果であり、国内研究者では稀な大変素晴らしい業績であります。なお、当該論文の筆頭著者が消化管外科学講座芦澤舞博士研究員、責任著者が同講座岡山洋和講師、最終責任著者が同講座河野浩二主任教授となっております。

受賞にあたり、岡山洋和講師は、「当論文が世界の癌研究者の目に触れ、このような機会につながったことは大変光栄です。ご指導いただいた河野浩二主任教授をはじめ、講座の皆さまの温かいサポート、そして苦しいときも最後までやり遂げた芦澤舞博士研究員に、深く感謝しています。小さな癌研究の積み重ねがいつか癌の臨床現場に還元されることを願っています」とコメントし、芦澤舞博士研究員は、「この度は大変栄誉ある表彰をいただき、とても嬉しく思います。癌免疫治療に深く関わっ

ていきたいという思いのなか、河野浩二主任教授、岡山洋和講師のご指導のもと、教室の皆様の力を借りてのびのびと研究活動できたことに感謝しかありません」とコメントしました。

※アメリカ癌学会AACRは、癌の疫学、予防、診断、治療についての臨床・基礎研究を担う横断的な学会であり、癌関連では世界最大規模の団体です。AACRは、Cancer Discovery、Cancer Research、Clinical Cancer Researchをはじめとした主要な癌専門学術誌を発行しています。



論文はこちらからご覧いただけます。

### 令和2年度救急医療功労者厚生労働大臣表彰 本学 地域包括的癌診療研究講座 兼 附属病院 高度救命救急センター 田勢長一郎特任教授

令和3年3月3日(水)に、令和2年度救急医療功労者厚生労働大臣表彰を、本学救急医療学講座初代主任教授であり、地域包括的癌診療研究講座兼附属病院高度救命救急センター田勢長一郎特任教授が受賞しました。

コロナウイルス感染拡大に伴い厚生労働省での表彰式は中止となりましたが、この度、令和3年6月15日(火)に福島県庁にて、表彰伝達式が行われました。

本表彰は、都道府県知事の推薦のもと、長年にわたり地域の救急医療の確保、救急医療対策の推進に貢献した個人や医療機関等の団体の功績をたたえ、厚生労働大臣から授与されるものです。

田勢長一郎特任教授は、長年にわたり地域住民が緊急時に必要な医療を迅速に受けることができる

救急医療体制の構築や災害時の救急医療や放射線災害医療の向上に貢献されました。また、啓発活動による救急医療に対する理解向上や、研修による救急医療関係者の資質の向上などに尽力した実績が評価され、この度の受賞となりました。

受賞にあたり、田勢長一郎特任教授は「福島県の救急医療活動が認められ、誠に光栄に存じます。救急医療は一人で出来るものではなく、多くの診療科や医療従事者ならびに多職種の方々の協力なくしてはうまくいきません。従って、今回の受賞は私に対してではなく、周囲の皆さんに与えられたものと思います。皆様のご理解、ご支援、ご協力に加え、救急医の救急に対する夢、情熱、絶え間ない努力の賜物です。今後も県内の

救急医療は進化を遂げていくでしょう。皆様のご協力よろしくお願ひ申し上げます」とコメントしました。



本学 地域包括的癌診療研究講座 兼附属病院高度救命救急センター田勢長一郎特任教授

### 保健科学部 福島駅前キャンパス見学会のお知らせ

令和3年7月11日(日)13時～16時に、本学保健科学部福島駅前キャンパスにおいて、教職員、研究員、大学院生等を対象に施設内見学会を開催いたします。

#### オープンキャンパスも開催予定

令和3年4月に保健科学部開設後、本学内はもちろんのこと、県民並びに近隣住民の皆さんにおいても福島駅前キャンパスへ多くの注目が集まっておりましたが、新型コロナウイルス感染症対策の観点から福島駅前キャンパス内への立ち入りは最小限に制限し、近隣住民の皆様との交流もままならない状況が続いておりました。そこでこの度、県内の感染状況など総合的に判断のうえ、まずは、令和3年7月4日(日)に、保健

科学部開設後初めてのオープンキャンパスを、続いて翌週に学内向け施設内見学会を開催する運びとなりました。ちなみに、オープンキャンパスは、開催発表当日に事前申込定員数に達しました。

#### 真新しい校舎と高度な医療機器

見学会では、保健科学部の4つの学科である「理学療法学科」「作業療法学科」「診療放射線科学科」「臨床検査学科」の実習室のほか、図書室、多目的ホール、講義室、会議室などを見学いただける予定です。県内の医療技術者のリーダー、または医療技術者を養成する指導者として活躍出来る人材の養成を目指し、先進的な教育が受けられるようにと、臨床用高磁場MRI

装置や質量分析計をはじめ、医療機関や研究機関でも導入されている高度な機器をご覧いただくことができます。

福島駅前キャンパスは、学生の学びの場であることを第一義としておりますが、この施設を本学全体として有効に活用し、学部間の教育・研究上の交流を活性化に資することも期待されています。ぜひ、この機会に、見学会に参加されてはいかがでしょうか。

※福島駅前キャンパスの施設(会議室、講義室等)は、デスクネット又は紙での保健科学部事務室への事前申込みにより利用可能です。また、実験機器等の利用に関しましては、管理している学科にお問い合わせください。



臨床用高磁場MRI



日常生活活動実習室



検鏡室



運動学実習室



図書室



多目的ホール



講義室



会議室

#### 施設内見学会参加方法について

申込方法：事前の申込みは不要です。  
会場入場：正面出入口から入場のうえ、受付において、所属、氏名等を確認するためネームプレートのご提示をお願いします。  
見学内容：多目的ホール、講義室、実習室、図書室、会議室等をご覧いただけます。尚、設備、機器等の質問には、教職員が対応します。  
留意事項：今回の見学会の対象は、教職員、研究員、大学院生等の本人のみを対象とします。ご家族等の同伴はご遠慮願います。

備考：研究等で利用可能な機器等のリストを見学会の前にデスクネット掲示板上に掲載する予定です。  
感染拡大防止対策に、ご理解ご協力をお願いします。※当日は、マスクのご着用をお願いいたします。※咳、発熱などの症状のある方は参加をご遠慮ください。※会場受付にて検温をさせていただきます。※敷地内には駐車できませんので、近隣の有料駐車場をご利用ください。